

第 18 回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会

3月31日～4月9日 スポーツ文化公園ラグビー場 陸上競技場



全国から32チームの強豪が集まる中、地元埼玉県からは深谷高校と川越東高校の2校が出場しました。

予選リーグを勝ち抜いた8校による決勝トーナメントの末、決勝戦では、桐蔭学園高校（神奈川県）が京都成章高校（京都府）を破り、初優勝を果たしました。

これからも、高校生ラグビーの熱い戦いを盛り上げるため、市民の皆さんの応援をお願いします。

◆ラグビーワールドカップ2019 推進室 ☎内線 344

決勝戦

桐蔭学園高校 42 対 12 京都成章高校



第 23 回選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」in 熊谷

3月25日～29日 妻沼運動公園・利根川総合運動公園サッカー場



全国から強豪チームを含む48校が集い、埼玉県からも熊谷女子高校をはじめ7校が出場しました。

決勝戦は、作陽高校（岡山県）と帝京長岡高校（新潟県）の対戦となり、作陽高校が初優勝を果たしました。

これからも、未来のなでしこジャパンを目指す女子高校生たちに、市民の皆さんの熱い声援をお願いします。

◆スポーツ観光課 ☎内線 391

決勝戦

作陽高校 1 対 0 帝京長岡高校



市民協働「熊谷の力」事業を募集します

まちの課題を、みんなで解決

①と②の方法で提案を募り、事業化を目指します。

①市が課題とするテーマに、市民活動団体から事業提案を募り、最も効果的な提案をした団体と市が協定等をつなぎ事業化を目指します。

②市民活動団体から地域の課題について自由なテーマで事業提案を募り、①と同様に事業化を目指します。

募集説明会

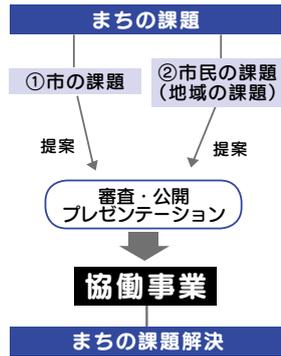
とき 5月30日(火) (昼の部)16:00～17:00
(夜の部)19:00～20:00

ところ 緑化センター

※募集要項は、説明会の後、下記、市民活動支援センター、各行政センターに置き、市ホームページに掲載します。

◆市民活動推進課 TEL内線 330、475

課題解決までのイメージ



移動健康カフェ事業

(平成29年度「熊谷の力」事業)の
参加団体・店舗の募集

市内のお店を利用して、「からだところの健康づくり」メニュー(健康体操、栄養・体調管理、歌声など)を展開する団体・店舗を募集します。

申込み 6月16日(金)まで

◆特定非営利活動法人
NPOくまがや

TEL 090-9108-5785(小林)

事業に関する問合せ

◆商工業振興課 TEL内線 499

男女共同参画の視点で～ひとひとのセミナー～

とき	内容	講師
6/14(水) 13:30～15:30	開講式 講座：あいあうカルタから考える女と男	埼玉県男女共同参画 推進センター (With You さいたま)
21(水) 13:30～15:30	講座：女性と子どもからみる貧困問題	
27(火) 13:30～15:30	講座：音楽シーンを変えた女性たち 閉講式	本田 純氏 (MUSIC TRAVEL)

ところ 男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室(ティアラ214階)

定員 各回20人 **費用** 無料

申込み 5月9日(火)から電話、FAX、Eメール(連絡先を明記)で下記へ。

※1講座のみの受講も可

◆男女共同参画室 TEL 048-599-0011 FAX 048-599-0012

Eメール)市ホームページから

赤ちゃんとのふれあい体験事業 ボランティア協力者募集

市内小・中学校の児童・生徒に、乳幼児やその保護者とのふれ合いを通して、命の大切さを感じとってもらうことを目的としています。

対象 6か月～3歳くらいの乳幼児とその保護者

とき 学校の希望した時期1回1～2時間

(9:00～12:00の間)

※日程等は調整して決定します。

ところ 事業実施学校内

募集期間 6月30日(金)まで

申込み 電話で下記へ。

◆社会教育課 TEL内線 389

一般介護予防事業

自分らしく地域で暮らし続けるためには、一人ひとりができる限り介護予防に努めましょう。地域や家庭で役割を担いながら生活することは介護予防にもつながります。多くの方と交流し、介護度の重症化予防および要支援状態の予防をしましょう。

対象 65歳以上の市民(介護度の有無に関係なく参加可)

※送迎はありません。互助により参加してください。

※どの会場にも申込み・参加できます。

持ち物 介護保険被保険者証 ほかは申込みの際にご確認ください。

申込み・問合せ先 1回ごとに下表実施団体別にお申し込みください。

◆長寿いきがい課 TEL内線 217

実施団体(開始日)	電話	曜日・時間	実施内容	定員	参加費/回
クイーンズビラ(6/11～)	048-523-8855	第2・4日曜日 10:00～	体操ほか	20人	100円
特養ルーエ(6/7～)	048-531-3010	第1・3水曜日 14:00～		20人	300円
ぬくもり(実施中)	048-529-2882	第2・4金曜日 14:00～		12人	500円
立正たちはなホーム(6/14～)会場:吉岡荘	048-539-3200	第2・4水曜日 10:00～	体操・手芸ほか	10人	500円
いずみ熊谷(6/14～)※	048-598-5470	第2・4水曜日 14:00～		10人	500円
しあわせの里(6/14～)会場:ひかわ荘	048-589-2328	第2・4水曜日 14:00～	体操ほか	30人	300円
熊谷ホーム(6/1～)	048-532-6910	第1・3木曜日 10:00～		20人	300円
永寿苑(6/13～)	048-533-2022	第2・4火曜日 10:00～	3B体操ほか	30人	500円
玉の緒(6/2～)	048-527-3555	第1・3金曜日 10:00～		20人	200円
はなぶさ苑中央デイ(6/14～)※	048-522-2626	第2・4水曜日 10:00～	体操ほか	25人	300円
はなぶさ苑25周年棟(6/14～)※	048-533-2510	第2・4水曜日 10:30～		30人	500円
はなぶさ苑足湯仲町(6/13～)※	048-527-8723	第2・4火曜日 13:30～		15人	300円
はなぶさ苑(6/8～)会場:荒川公民館※	048-533-0003	第2・4木曜日 10:00～		20人	300円

※の事業は、参加希望日の1週間前までにお申し込みください。



春を告げる熊谷さくらマラソン大会

3月19日、第27回熊谷さくらマラソン大会が開催されました。参加者は、北は北海道、南は九州から集まる大きな大会です。当日は、菜の花がコース脇に咲き誇り、7,183人の方が完走しました。



ソシオ流通センター駅が完成

4月1日のソシオ流通センター駅開業を前に、3月31日に関係者が出席し、新駅竣工式典が開催されました。当駅開業により、佐谷田地域の公共交通の利便性が向上し、問屋町など東部地域への新たなアクセスの起点が整備されました。



立正大学がラグビーを通して地域交流

4月9日、立正大学で第10回ラグビーフェスティバルが行われました。学生による子どもたちへの指導、親子タグラグビーのほか、女子セvensや中高年ラグーマンの試合も行われ、幅広い人たちがラグビーを楽しみました。



荒川公園の「D51」がきれいになりました

荒川公園に展示している蒸気機関車が、保存会の協力のもと修復作業を終え、4月1日・2日に修復記念イベントが開催されました。D51と一緒に写真を撮ったり、運転室に入るなどたくさんの方が楽しみました。写真は保存会の方々です。



受賞の喜びを直接伝えに来ました。

3月28日、サッカーU-15日本代表の須藤直輝さん(写真左)、第35回J S B A全日本スノーボード選手権大会スロープスタイル出場の須永陽翔さん(写真中央)、第63回埼玉県学校歯科保健コンクール埼玉県歯科医師会会長賞・第55回全日本学校歯科保健優良校奨励賞受賞の富士見中学校保健委員会の皆さんが報告に来てくれました。

元トップリーガー木川隼吾のラグビーオモシロ話

● 第2回 試合で感じる痛み ●

ラグビーを観戦した多くの方から「試合中は、生身の体で激しくぶつかりあっているけど、痛くないの?」と聞かれます。お答えします・・・。

4月号で紹介した“気持ちのスイッチ”が入っている状態だと、ほとんど痛みを感じません。むしろ、相手から痛いプレーを受けると怒りに近い感情で、さらにボルテージが上がって相手にぶつかっていきます。

ただ、私の場合は、試合の次の日の朝、試合で負傷した体中の痛みと、試合後のお酒の二日酔いで動けなくなることがよくありました。

ラグビーワールドカップ2019 推進室
木川 隼吾

◆ラグビーワールドカップ2019 推進室 TEL内線 344



満開の桜が今年もお出迎え

3月29日～4月12日、熊谷桜堤で熊谷さくら祭が開催されました。約500本、2kmにわたる満開の桜が市内外からの多くの人を魅了しました。菜の花と桜のコントラストが印象的でした。



満開の桜の下、くまがや桜よさこい開催!

4月9日、荒川公園・荒川緑地自由広場で第9回くまがや桜よさこいが開催されました。あいにくの天気でしたが、満開の桜の下、雨を吹き飛ばす熱気で、各団体とも趣向を凝らした踊りで熊谷の春を盛り上げました。



SLに乗ってレッツゴー!!!

3月18日、運行30周年を迎えた秩父鉄道のSLパレオエクスプレスの出発式が、熊谷駅で行われました。鉄道ファンのみならず老若男女幅広い層の方々がSLの堂々とした姿に目を輝かせていました。



熊谷ラグビー場が大きくリニューアルします

3月25日に、ラグビーワールドカップ2019に向けた熊谷ラグビー場の改修工事開始を記念して、県内小学生によるタグラグビー大会や、サンウルブズ戦のパブリックビューイングなどによる記念イベントが行われました。



妻沼の魅力をPR、2種類のパンフレット完成!

立正大学地球環境科学部地理学科の学生が道の駅「めぬま」との連携企画で、地域情報パンフレット「めぬまっち」妻沼自然教室」を完成させ、熊谷市へ贈呈されました。妻沼地区への観光客の誘致を促し、地域活性化につなげます。

読んで当てよう!! 市報クイズ



今月の問題

次の□に入る言葉や数字を、それぞれお答えください。
妻沼聖天山で第72期□戦が開催されます。

アンケート

- Q1 今月号市報の感想をお書きください。
- Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法

ハガキまたはEメールに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題とアンケートの回答を必ず記入し、5月25日(木)までにご応募ください(一人につき一通)。※回答がないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601

宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課

✉: kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

今月のプレゼント

月うさぎの「人気のもちもちトマトうどん(セット)」を10人にご提供!



[店舗情報]

所在地: 熊谷市鎌倉町11

☎ 070-4083-6876

営業時間: 月～金曜日、11:00～14:00

3月号の正解

① 9 ② めぬま

◆応募総数 67 通 中正解 59 通



情熱世代 夢 追い人

本場の響きを日本へ
オペラ歌手 岡崎麻奈未さん
(熊谷市出身)

歌との出会い

物心ついた頃から、音楽が大好きでした。小さい頃から音楽をしなければいけないとなぜか思っていましたし、苦手な箇所を練習すると必ず出来るようになり、一番好きなフレーズになる感覚がたまたまなく好き

単身、ウィーンへ

でした。高校生になり、小川明子先生に出逢いクラシック音楽の魅力に益々惹かれていきました。

高校卒業後、音楽大の音楽科へ進み、卒業後はオペラ歌手を志望していました。しかし、日本では、大学院、研修所を経て海外に行くというのがセオリーでした。私は卒業後すぐに、なぜヨーロッパの文化を日本で学び続けるのだろうかという疑問を持ち、留学したかったので、周りからは反対されました。でもそこで小川先生が「やってみればいいんじゃない」と背中を押してくださり、思い切ってウィーンに行く事を決心しました。

こんな状況なので、「ウィーンで成功するしか道はない」と思い、まずはドイツ語を猛特訓し、3か月で習得しました。その後間もなく参加したコンクールで1位になり、初めてのオーディションで劇場契約をいただき、ウィーンでオペラデビューしました。

日本と世界との架け橋に

その後はウィーンほかヨーロッパ各地で活動してきましたが、3年ほど前から日本でも



ウィーンのレアバホールでの演奏の様子

活動するようになりました。それは日本人だから出来るクラシック音楽とは何だろうと思いはじめたからです。地元の方々がいてこそ、自分の活動があるんだと気づいたのです。熊谷に帰ってくるが見慣れた風景があつて、みんなが温かく迎えてくれる。熊谷という帰る場があるから世界に飛び立てる事が出来ます。

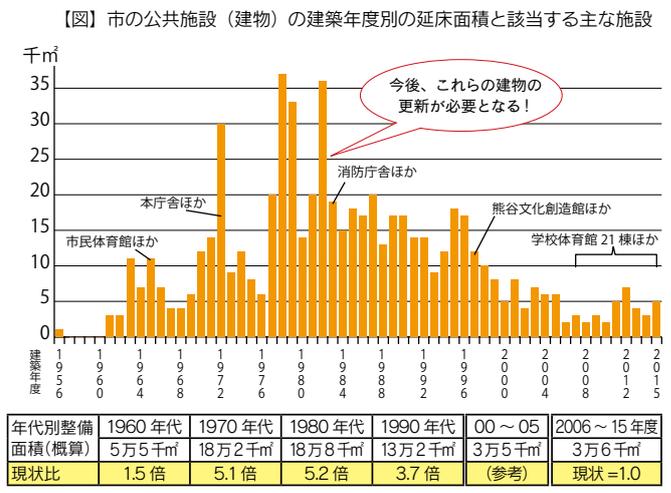
歌っていて嬉しいのは「また聴きたい」「元気になった」と言ってもらえることです。本場の音楽を日本に持ち帰ることと、ヨーロッパと日本の架け橋になればと思います。熊谷人としての誇りを持って、世界へ活動の幅を広げていきたいです。

どうする？
どうなる？

市の施設

第2回 市有施設(建物)の全体像

現在、市が保有等する公共施設(建物)の延床面積は、約62万8千平方メートルにもなります。(図参照)1960年代以後に整備されたこれらの施設は、耐用年数を60年と考えた場合、2020年代から、順次その更新(建替え)を行う必要があります。仮に全ての施設を更新することにした場合の費用負担は、過去10年間を基準とすると、最大で現在の5倍以上にもなる計算です。(図の現状比参照)今後の更なる人口減少・財政縮小を考えると、人口減に伴い必要な施設面積も減るとはいえ、存続させるべき施設か否かの見極め・選別は、避けては通れない状況です。



◆ 行政改革推進室 内線 210

人口と世帯

●平成29年4月1日現在(対前月比)
■人口 199,029人(-398) 男 99,306人(-241) 女 99,723人(-157) ■世帯 85,079(+102)

「市報くまがや」5月号は、73,200部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり16円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日 平成29年5月1日 ●発行 熊谷市
●編集 広報広聴課 〒360-0860 熊谷市宮町二丁目47番地1
☎048-524-1111(内線2006) ☉048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日原則に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) http://www.city.kumagaya.lg.jp/